

小型高分解能光学センサSHIROP



光学センサOPS

祝！「しきさい」「つばめ」打ち上げ成功

12月23日、気候変動観測衛星「しきさい」(GCOM-C)および超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)を搭載したH-II Aロケット37号機が、種子島宇宙センターから打ち上げられました。

気候変動観測衛星「しきさい」には、当社が担当したモニタカメラが4台搭載されています。

また、長期にわたって超低高度軌道(180~300km)を維持するための技術試験機である「つばめ」では、地表面との距離が近くなるため、より高解像度で地球観測ができ、当社は小型高分解能光学センサ(SHIROP)と光学センサ(OPS)を担当しました。

SHIROPは軌道上から地上を撮影する有効開口径20cmの光学望遠鏡で、小型の望遠鏡による高分解能画像取得を実証します。OPSは、SHIROPほどの解像度ではありませんが、広範囲をカラー撮影することが可能で、SHIROPとあわせて運用することで両方の特徴を生かした画像が取得可能となります。

明星電気の光学センサが、超低高度軌道を利用する最初の地球観測衛星に搭載されています。

(担当:宇宙防衛事業部)



展示場で記念撮影

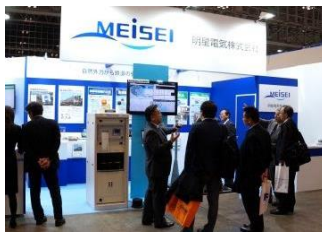
JICA主催7ヶ国気象業務能力向上研修 工場見学会

12月6日にJICAが主催するアジア地域の気象業務能力向上を目的とした研修の一環で、日本気象測器工業会会員各社の製品展示・説明会と工場見学会が、明星電気本社を会場として開催されました。

ミャンマー、フィリピン、スリランカなど7カ国8名の気象業務担当者、JICA担当者、気象庁担当者、日本気象測器工業会会員各社の総勢17名が参加しました。当日説明された各社の製品や、当社製品の製造工程の見学を通して、研修生からは、貴重な経験ができたとの言葉もあり、GPSラジオゾンデIMS-100や超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAに対しても、多くの質問がありました。

これからも当社の製品や技術を生かし、世界各国の気象観測に貢献できるよう取り組んでいきます。

(担当:気象防災事業部)



展示ブース全景

第5回鉄道技術展に出展

当社は、11月29日から3日間幕張メッセで開催された鉄道技術展に出展しました。鉄道技術展は、車両・構造、運行管理、旅客設備、軌道、土木関連他あらゆる鉄道分野の技術が一堂に会する総合見本市です。ここに、新幹線の運行を巨大地震から守る早期検知用地震計や計測震度計S210、QCASTシリーズ受信ユニットS740、超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAなどの実機、パネルなどを展示しました。

前回は上回る532社が出展し、海外からも多数出展・来場者があり、熱心な質問が寄せられました。

これからも国内だけでなく、世界各地での安全安心への貢献を目標に、事業を展開していきます。

(担当:気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。